

国際社会科学部国際社会科学科3年 肥田 季美佳さん (草月流いけばな同好会 所属)

学校や地域の図書館からは多くの学びと楽しさを感じてきました。私に新たな扉を示してくれる図書館に関係することをしたいと思い、図書館サポーターに挑戦しました。趣味は映画観賞、読書、文通です。最近は、中国ドラマをよく観ています。関西出身です。



図書館を普段、どう使っていますか？

多読(英語の短い本)を1週間に、2冊程借りています。コンピューター利用閲覧室や閲覧室では週1回程度、宿題をするために使っています。グループラーニング室ではプレゼンテーションの準備等を行いました。

新入生の皆さんに読んでほしいおすすめの1冊は？

『Alice in wonderland』 Lewis Carroll , retold by Mary Tomalin
(Pearson Education 2000)

請求記号：Pengrd/L2/20 配置場所：大学図・1F開架

OPAC URL：https://glim-op.glim.gakushuin.ac.jp/webopac/BB00767398

Penguin readersシリーズはレベルが7段階に分かれており、自分のレベルに合った本を見つけやすいです。この本はレベル2で、皆さんが1度は聞いたことがある物語のため、英語でも内容をつかみやすい1冊です。

おすすめの非来館型図書館サービス（どこでも使える図書館のサービス）は？

GLIM/OPAC 本の有無や配置場所を知ることができ、効率よく探すことができるから。

GLIM/OPACは学習院大学および学習院女子大学で所蔵している本・雑誌を検索できる蔵書検索システムです。検索の他、予約や取り寄せ等の便利な機能もあります。

おすすめの来館型図書館サービス（図書館に来て使えるサービス）は？

どこでも返却 図書館に行かなくても返却できるため、時間や場所に縛られずに利用できるから。

どこでも返却については右上にて紹介しています。

「どこでも返却」とは、大学図書館・法経図書センター・理学部図書室・女子大学図書館の4館の貸出資料を、所蔵館にかかわらず4館どの館でも返却できるサービスです。

※文学部各学科、附置研究所の図書室の資料は、どこでも返却の対象外です。

図書館でオススメの場所は？

勉強に最適な場所は**閲覧室**です。よく利用する本がある場所は1階の**多読・Englishのコーナー**（右写真）です。



閲覧室は広いため、周りの環境を気にせずに利用することができるからです。のびのびと使うことができ、静かに勉強することができます。多読コーナーにある本は、短時間で知識や英語力の向上につなげることができるためお勧めします。

参加必須！なオススメの図書館イベントは？

授業内のセミナー このイベント(授業)に参加したことで、実際に利用する際にスムーズに必要な本や論文を見つけることができました。基本的なことから1つ1つ細かく解説してくださり、実践形式のため理解しやすかったです。

最後に、新入生の皆さんに肥田さんから図書館は勉強や新たなきっかけを示してくれる場所です。授業の役に立つものや資格の本も揃っていて、大学生活を充実させることができます。是非足を運んでみて下さい。

